



市議会傍聴のご案内

12月6日(水)から仙台市議会第4回定例会が始まりました。(12月21日(木)まで)

市長や議員の期末手当の引き上げや、国の経済対策による低所得世帯への物価高対策緊急支援給付金の支給(7万円)や福祉施設等に対する光熱費等助成、物価高騰の影響を受ける市内事業者への事業継続支援など、くらしに関わる大事な議案・補正予算案が提案されています。

代表質疑、一般質問は仙台市議会ホームページで生中継されます。下のQRコードから生中継をご覧ください。市議会での傍聴もできます。詳しい日程はお問い合わせください。

代表質疑

高見のり子 議員 12月13日(水) 午後1時から

- 物価・エネルギー高騰に苦しむ市民の暮らし、地元事業者を支える補正予算を
- 敬老乗車証制度は充実こそ必要
- 学校給食の無料化、子ども医療費、アーチルの増設等、子育て支援の充実を
- パートナーシップ制度は新年度当初からの施行を
- 4病院の再編移転を許すな
- 保育や介護で働く職員の処遇改善
- 「マイナ保険証」の一体化はやめて現行の保険証を残すよう国に求めよ
- 補聴器購入補助制度の創設を
- 市の施設となるアイスリンクは市民に喜ばれるものに
- 今こそ非核平和都市宣言を

一般質問

高村 直也 議員 12月14日(木) 午後2時半頃から

- ハラスメントの根絶へ
 - ・ パワハラ防止法など2020年施行。措置義務の周知・徹底を
 - ・ ハラスメントは人権侵害、重大なリスク
 - ・ 沈黙の鎖を解く啓発活動
 - ・ ハラスメント禁止は世界の流れ。条例も活かして対応を
 - ・ NPO・ボランティアへも対策を



一般質問

すげの直子 議員 12月15日(金) 午後3時頃から

(一問一答)

- 安心して住み続けられる公営住宅を
 - ・ 修繕予算を増やし、募集戸数をもっと
 - ・ 県営住宅廃止はやめよの声を仙台市から
- 市民の参政権を保障するために
 - ・ 期日前投票所の増設等、身近に投票できる環境整備
 - ・ 大学等への投票所設置で若者の投票率向上
 - ・ 主権者教育の充実



日本共産党の質疑中継を
スマホでみよう!

敬老乗車証の自己負担が25%にも?!

12月5日学習会

「公共交通のあり方と財源を考える」大盛況



西村茂さん（金沢大学名誉教授）から、長寿社会での公共交通の大切さと、社会の基盤として公的な財源で支える国内各地、フランスなどの取り組みを学びました。

内容は、市議団ホームページ、市議団ニュースなどでお知らせしていく予定です。



敬老乗車証制度見直し(中間案)

敬老乗車証制度は、70歳以上の交付対象者20.4万人のうち交付者14万人、利用者10.5万人という、市民に歓迎され利用されている制度です。



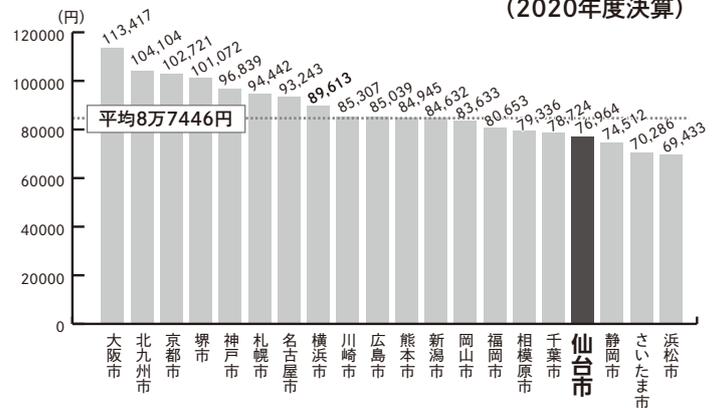
【多くの高齢者が利用してこそ まちも元気に】

利用者負担が2.5倍になれば、利用抑制が起きることは間違いありません。利用者が減れば、介護や医療の予防効果が弱まり、地域経済への波及効果が減ることが心配されます。また、市バスや宮交バスの経営はさらに厳しくなり、減便や路線廃止につながりかねません。

【仙台市の財政力は十分 福祉にこそ】

仙台市の財政は毎年30億円以上の黒字、基金の総額も政令市中2番目に多い健全財政。一方、市民一人当たりの福祉予算は政令市20都市中17番目。年間300億円増やしてようやく政令市の平均水準なので、高齢者福祉の自然増はもちろん、福祉予算を増やさせましょう。

民生費における市民1人当たり一般財源額の政令市比較 (2020年度決算)



【無人チャージ機の導入経費が…】

無人チャージ機に係る経費が、初期費用にシステム改修2億円と9台の導入に4500万円、現金回収やコールセンターなどの経常経費に毎年約1億円と、けた違いの大きさ。身近な場所で人がいるところでチャージできるようにしてほしいという声が寄せられています。

【私たち抜きに私たちのことを決めないで】

市が行った説明会は7回。パブリックコメントは12月26日まで。市は、来年1月に見直し案の最終案を取りまとめ、2月の議会に条例改正案を提案して、10月からの新制度を施行させる考えです。市民への丁寧な説明と、意見を十分に聞くこともしないで決めることがらではありません。

パブリックコメントに、あなたの一言を



12/26まで